



皆さん、お元気ですか？ 中体連の大会も真っ只中となり、暑さもいよいよ本格的になってきました。体調管理に気を配り、熱中症には十分ご注意ください。

今月号の「まっチャレ通信」では、先月号に引き続き、皆さんの身近にある「まっチャレ」団体をご紹介します。また、最近多くの方からご質問をいただいている中体連に関する情報について、中信中体連理事長の渡邊校長先生にお話を伺いました。中体連大会の今後の動向については、引き続き情報提供を行ってまいります。



コーディネーターが行く！まっチャレPICK UP (第2回)

先月から始まった「まっチャレ」紹介コーナー。

今回は、これまでの部活動にはなかった太鼓クラブと、昨年立ち上がった卓球クラブをご紹介します。



神林太鼓連子供太鼓

代表：巾下 由貴

活動場所：臨空工業団地体育館、神林体育館

「迫力ある音色は ふるさとの響き」



日曜日の夕方、工業団地の一角にある体育館から、力強い太鼓の音が響いてきました。神林太鼓連子供太鼓の練習です。

この日の練習は、前半は神林神社例祭での舞、後半は太鼓の練習でした。参加していた小学生、中学生の15名は、指導者からの教を身につけようと一生懸命に繰り返し練習していました。

代表の巾下さんは子供太鼓の創設当時から関わっています。「小学生で太鼓を習っても、中学に入学するとやめてしまう。ぜひ続けていけるような環境をつくりたい」と、まっチャレに参加したそうです。

「小学生の入会が増え、太鼓の数が足りない。」と嬉しい悩みを語ってくれました。

例祭への奉納太鼓の趣旨に理解してもらえれば、他地区の中学生も入って欲しいとのこと。ぜひ皆さんも、若い力を太鼓に打ち込んでみませんか？

HP : <https://ameblo.jp/kanbayashitaiko/>
連絡先 : [090-1401-4261](tel:090-1401-4261) (巾下)



スワンTTC



指導：諏訪 正好

活動場所：清水中学校柔剣道場

「卓球を生涯スポーツとして楽しもう」



新しいクラブ員12名を迎え、小学生から一般までの総勢31名になりました。代表の諏訪さんは、長年、清水中学校卓球部やスペシャルオリンピックスの指導してきています。

昨年、「スワンTTC」の地域クラブ(卓球)が立ち上がりました。白鳥に冠をのせたクラブのマークは、諏訪さん自身がデザインしたものです。純粋に卓球を愛し、優しく進んでいくイメージはこのクラブの活動を表しているものでしょう。

練習では、ひた向きにボールを打ち返す子どもたちの姿が印象的でした。先日、クラブ員と保護者との親睦を深めるためのバーベキューが催されたそうです。みんなで楽しく、そして一人ひとりが厳しさをもって卓球の技を向上させていく、そんなクラブでした。

HP : <https://sgrum.com/web/31572924/>
連絡先 : [070-3994-5677](tel:070-3994-5677) (諏訪)





読者の皆さんからいただいた意見にお答えします！

Q

中体連の大会について、最新の情報を教えてください。

A

今年度、中信中体連理事長である渡邊校長先生に直接インタビューしました。



Q1. 今回は中体連の立場から、地域移行についてのお考えをうかがいます。まず、渡邊校長先生ご自身として、地域移行についてどのような考えをお持ちですか？

A1. 学校の部活動にはさまざまな課題が生じています。子どもたちのやりたい活動と大会出場を保障していくという意味で、**地域移行は必要な変化**だと感じています。



Q2. 中体連の大会は今後、どのようになっているのでしょうか？

A2. かつては学校単独チームによる出場がほとんどでしたが、ここ数年は他校との合同チームや、拠点校部活動によるチームが増えました。さらに、昨年度からは地域クラブ活動のチームが増えており、新たな参加形態が進んでいます。一方で、これまで教員が担っていた**大会準備や運営を今後誰がどのように担っていくのかが大きな課題**であり、市町村や各競技団体、地域クラブ活動が一層連携する必要性を感じています。



Q3. 令和9年度以降、松本市内の学校では部活動がなくなる見通しですが、中体連の大会には学校名で出場できなくなるのでしょうか？

A3. 現時点においては、令和9年度以降の中体連の大会参加は、次の二つが考えられます。①地域クラブ活動での出場。②学校としての出場。②について、**学校長の許可と県中体連会長の承認があれば、学校名（学校代表）での出場は可能**となっています。なお、その際の引率・監督は、外部指導者として地域や保護者の方に依頼することが考えられます。今後の検討課題の一つであると認識しています。



Q4. 中体連の大会は、いつまで続くのでしょうか？

A4. 中信大会の上位大会である北信越大会が令和11年まで開催されることが決まっているため、**令和11年までは大会が継続される見込み**です。それ以降の開催については、まだ決まっていません。



Q5. 私たちが最も懸念しているのは、せっかく大会に向けて練習してきたのに、いざ出場となった際に出られなくなるようなトラブルです。現時点でそのような事例はあるのでしょうか？

A5. 加入した地域クラブ活動が、①**中体連大会参加を目指していない**、②**中体連の示す大会参加資格や各競技が示す競技部細則の条件を満たしていない場合は出場できません**。今後、懸念されているトラブルが起こらないよう、松本市教育委員会にも調整をお願いしていますが、クラブに加入する前に、「**中体連の大会参加を目指すクラブかどうか、中体連大会参加資格や出場条件を満たしているクラブかどうか**」を、地域クラブの指導者としてしっかり確認してください。



Q6. 最後に、子どもたちに向けてメッセージをお願いします。

A6. みなさんが安心して中体連大会に臨み、活動の成果を十分発揮できるよう、準備や運営を進めていきます。みなさんの「やってみたい」気持ちを大切に、目標に向かって仲間とともに精一杯取り組んでください。



渡邊校長先生、本日は貴重なお話をありがとうございました。



まつチャレ一覧に掲載の団体数（令和7年6月27日時点）

スポーツ45団体・文化6団体 **合計51団体**（内令和6年度補助金受給団体は12団体、令和7年度補助金受給団体は5団体）



まつチャレ通信では皆さまからのご意見・ご感想をお待ちしています。「こんな特集をしてほしい」などのご要望がありましたら、コチラから投稿をお願いします。→ <https://logofom.jp/form/N7tm/791864>